

常任委員会

Q & A

決算特別委員会

総務委員会

開会日 9月29日(金)
案件 議案9件・陳情2件・報告3件等

● 巣鴨北中学校改築工事請負契約について外

問 入札予定価格公表時期の事前と事後でのそれぞれの長所は、

答 事前公表では、情報漏えい防止と事業者が採算性を比較し早く判断できる。事後公表では、入札の結果、予定価格を下回る事業者がなかった場合でも、減価交渉をする余地がある。

● 平成29年度豊島区一般会計補正予算(第4号)

問 町会・商店街での地域見守り活動の防犯カメラ予定台数は、

答 本年度、10地区63台の要望があり、補正予算に計上した。

区民厚生委員会

開会日 9月29日(金)
案件 議案3件・陳情1件・報告3件等

● 平成29年度豊島区後期高齢者医療事業会計補正予算(第1号)

問 後期高齢者医療の加入者は、昨年に比べて500人から600人ほど増えているが、一人当たりの給付額が減っているのはどうしてか。

答 75歳未満の一人当たりの医療費は21万8千円、75歳以上は93万円と高額であり、総額は増えているが、新規被保険者の全員が医療給付を受けているわけではないため、総額は増えても一人当たりの給付額は減っている。

都市整備委員会

開会日 10月2日(月)
案件 議案3件・陳情1件・報告3件等

● 豊島区立従前居住者住宅条例(一部改正)

問 入居する場合の条件は、

答 東京都木造住宅密集地域整備事業等により、住むところにお困りの高齢者が対象。

● 豊島区居住宅条例(一部改正)

問 収入報告がないと、近傍同種家賃になるが、現状、認知症患者等でそういう方がいるのか。

答 収入報告を忘れる方がいるが、連帯保証人やご家族等が必要書類を提出し、収入に基づく応能応益家賃になっている。

子ども文教委員会

開会日 10月2日(月)
案件 議案1件・報告7件等

● 豊島区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例(一部改正)

問 改正による区への影響は、

答 ない。

問 認定こども園の方向性は、

答 質の高い教育と保育の実践の場として認定こども園設置を目指す。

問 認定こども園のメリットは、

答 現在、要町幼稚園が幼稚園型認定こども園として運営。母親の就労状況が変わり、保育の必要性がなくなった場合でも、1号認定での通園が可能になる。

決算特別委員会

9月20日の本会議にて、平成28年度一般会計・国民健康保険事業会計・後期高齢者医療事業会計・介護保険事業会計の4会計決算を審査するため、17名の委員からなる決算特別委員会を設置しました。7日間にわたる質疑を行い、最終日の10月25日には、会派ごとに意見表明(要旨は8面)を行った後、採決を行った結果、いずれも賛成多数で認定することとしました。以下、質疑内容等の概要をお知らせします。

総務費

障害者雇用について

問 障害者の法定雇用率が引き上げられるが、他区と比較して本区の現状は、

答 法定雇用率は、国、地方公共団体については2.3%、30年4月1日から2.5%となる。本区の雇用率は、2.61%で、23区全体は2.53%となっている。

● 帰宅困難者対策費用について

問 本区はターミナル駅を抱えている。都区財政調整の人口割以上の算定の有無は、

答 算定されていないが、毎年要求している。今年も区長会の決定の後に、都と協議に入る。

● 土地開発公社の存廃について

問 地価動向の変化などで公社の役割は減少し、廃止した区もあるが、存廃についての見解は、

答 居住環境総合整備事業などで、タイミングに応じて、即座に用地を取得するという点で有効に活用している。直ちに廃止する考えはない。

福祉費

待機児童対策について

問 待機児童ゼロを達成し、今後、今まで以上に質の向上が求

総務費

められ、新たな課題への取組が問われる。区の相談体制は、

答 入園に関して様々な相談があり、保育アドバイザーが、入園の相談を受け付けている。

● 子ども・若者支援事業について

問 生活保護受給対象の中で、子ども・若者支援事業の対象者は、

答 35歳までが対象で、人数は47人、その内18歳までは206人。

問 具体的な支援の内容は、

答 塾代の補助、無料学習会の紹介等の支援を行っている。

● がん検診について

問 がん検診に注力しているが、ピロリ菌検査等の実施状況は、

答 ピロリ菌検査やABC検診とも受診者数は増えている。

● 救急業務連絡会について

問 現在加盟している病院は、

答 都立大塚病院をはじめ、区内14病院である。

環境清掃費

ごみ減量・資源回収について

問 資源回収の品目を増やす取組を実施してはどうか。

答 まずは現状の分別がきちんと

都市整備費

空き家実態調査について

問 調査で分かったことは、

答 空き家と認識していない方や利活用に消極的な方が多い。

問 問題を未然に防ぐ対策は、

答 空き家の勉強会等を実施しており、今後、条例を制定し、仕組みづくりを進める。

● 自転車駐車場の整備について

問 今年、整備が必要な自転車駐車場とその整備の内容は、

答 池袋駅西自転車駐車場及び西巣鴨自転車駐車場の階段にオートスロープを取り付けることを予定している。

● 読書活動の推進について

問 区民ひろばへの図書貸出について、現状は、

答 29年度より、区民ひろば朋有・南池袋で団体貸出のモデル実施を開始。毎月1回、50冊を団体貸出しており、高齢の方からは大活字本や写真の本が好評。

● 教育費

● 教員の負担軽減のために、

問 教員の負担軽減のために、今後考えていくことは、

答 区は校務支援システムを導入。成績処理等の作業を電子化し、校務の効率化を図っている。今後ICT等を活用して、校務負担の軽減に取り組む。

● 加入者の実態について

問 加入者の生活実態を収入か

となされるよう取り組んでいくが、課題として受け止める。

後期高齢者医療事業会計

● 医療費の抑制について

問 重複投薬や不適切な多剤投薬を減らすための取組は、

答 平成30年度から都広域連合で訪問指導を行う予定である。医療費の適正化については、重複・頻回受診も含め、保険者として適切に取り組んでいく。

介護保険事業会計

● 地域支援事業について

問 28年度の訪問と通所の件数と実績額は、

答 訪問サービス事業の件数は、4千577件で7千200万円余、通所型サービスは4千661件で1億円強であった。

決算特別委員会委員名簿

| | |
|--------------------|-------------------|
| ◎委員長 | ○副委員長 |
| ◎西山 陽介 (公 明 党) | ○芳賀 竜朗 (自民党豊島区議団) |
| ◎小川 知生 (刷新の会) | ◎藤澤 愛子 (自民党豊島区議団) |
| ◎松下一郎 (自民党豊島区議団) | ◎森 とおる (日本共産党) |
| ◎ふま ミチ (公 明 党) | ◎星 京子 (暫定ファーストの会) |
| ◎永野 裕子 (民主ネット) | ◎儀武さとる (日本共産党) |
| ◎島村 高彦 (公 明 党) | ◎中島 義春 (公 明 党) |
| ◎河原 弘明 (暫定ファーストの会) | ◎村上 宇一 (自民党豊島区議団) |
| ◎大谷 洋子 (民主ネット) | ◎渡辺くみ子 (日本共産党) |